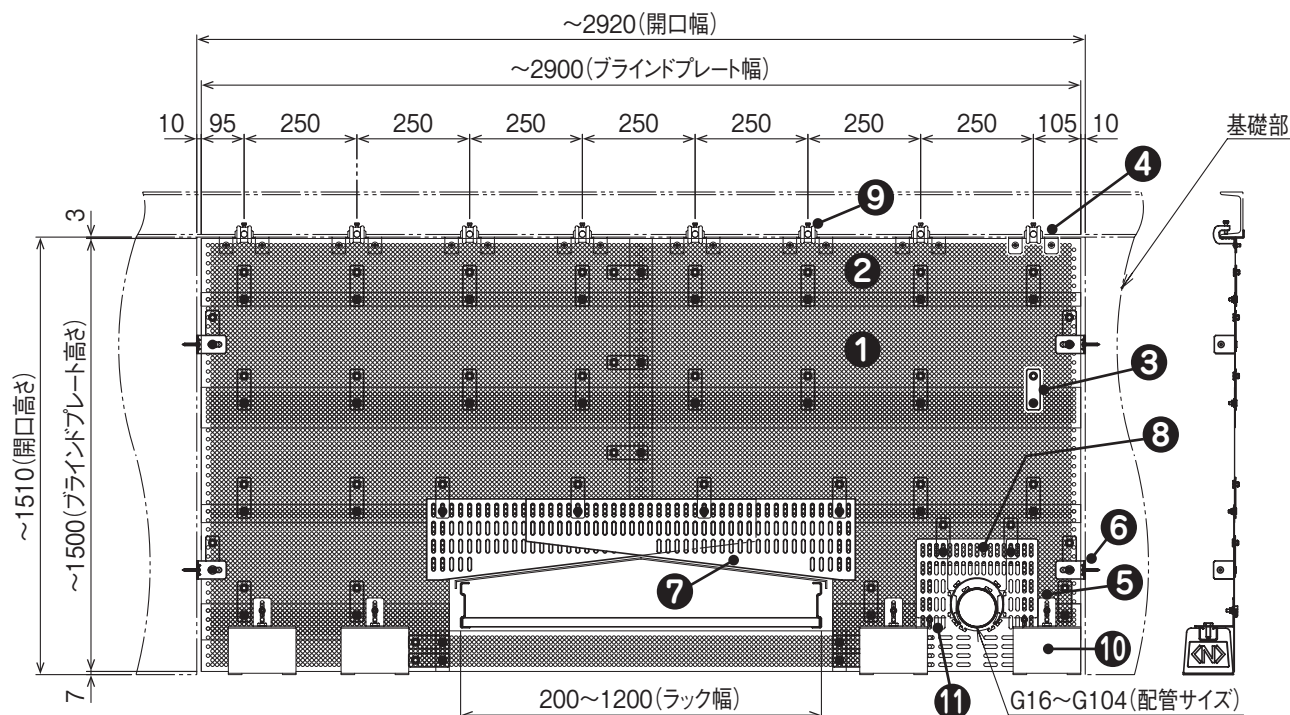


ブラインドプレート 施工要領書

このたびは、ブラインドプレートをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの施工要領書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

施工寸法

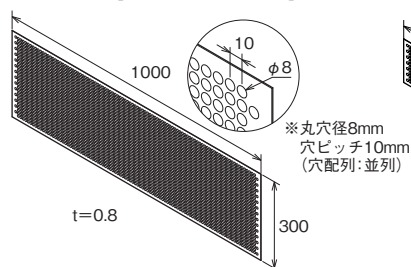


設置条件目安

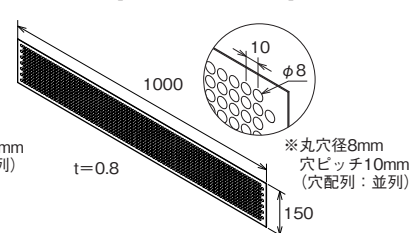
風圧荷重	設計用基準風速	$V_o = 38\text{m/s}$ 以下
	設置高さ	$H = 40\text{m}$ 以下
	地表面粗度区分	Ⅱ～Ⅳ

使用部品

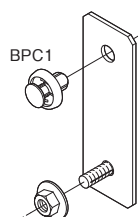
1 ブラインドプレート(300H) 【品番：SD-BPH300】



2 ブラインドプレート(150H) 【品番：SD-BPH150】



3 継ぎ金具 【品番：SD-BPG2】



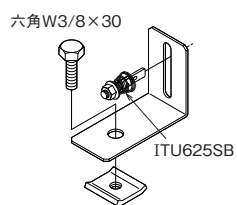
4 固定金具

【品番：SD-BPF1】 【品番：SD-BPF2】

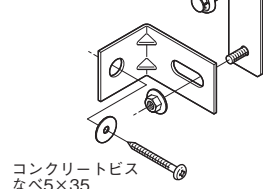


品 番	適 合	
	みぞ形鋼	H形鋼
SD-BPF1	100×50	—
SD-BPF2	—	フランジ幅100～250 フランジ厚8～14

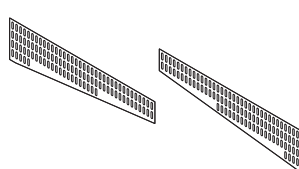
5 ブロック固定金具 【品番：SD-BPKF2】



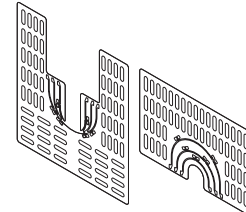
6 基礎用固定金具 【品番：SD-BPKF1】



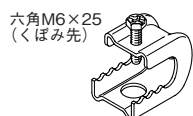
7 屋根形カバー用プレート 【品番：SD-BPY120】



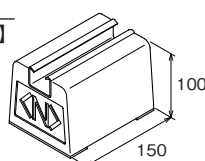
8 配管用プレート 【品番：SD-BPP104】



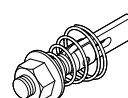
9 パイラック 【品番：Z-PH1】



10 ブロック 【品番：MKGBB1510】



11 オタイコハンガー 【品番：ITU625SB】



⚠ 注意

- SD-BPF1、SD-BPF2の取り付けピッチは250mm以内です。ブラインドプレートが外れ、飛散の恐れがあります。
- 継ぎ金具、ブロック固定金具の取り付けピッチは250mm以内です。また、貫通物（配管、ケーブルラック）がある場合は、取り付け位置をずらして固定してください。飛散の恐れがあります。
- SD-BPKF1の取り付けピッチは500mm以内です。ブラインドプレートが外れ、飛散の恐れがあります。
- 作業時は保護手袋を着用ください。ブラインドプレート切断時など、突起で怪我をする恐れがあります。
- ブラインドプレートを切断した場合、切断部分にはアルミテープなどで保護してください。突起で怪我をする恐れがあります。

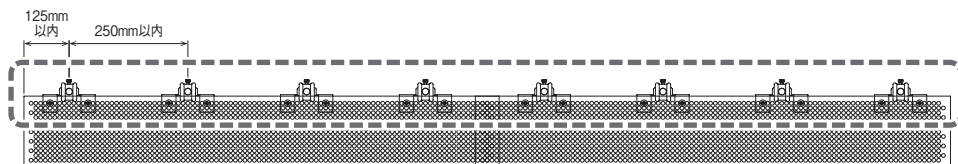
使用上のご注意

- SD-BPF1はみぞ形鋼サイズ100×50専用金具です。その他のサイズには取り付けません。
- SD-BPF2はH形鋼専用です。H形鋼以外には使用しないでください。
- SD-BPH150、SD-BPH300を組み合わせる場合は、継ぎ金具を使用してください。
- 継ぎ金具、ブロック固定金具が干渉する場合は、どちらかをずらして固定してください。
- ブラインドプレートの重なり部分の短辺側にも継ぎ金具を固定してください。

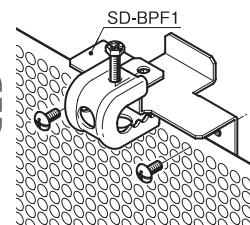
ブラインドプレート全体の取付手順1 1～7

1 固定金具の組み付け

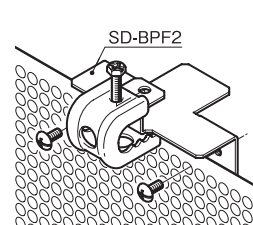
固定金具にパイラックを組み付け、ブラインドプレート上端に組み付けます。
固定金具の取り付けピッチは250mm以内です。



Ⅰ みぞ形鋼の場合

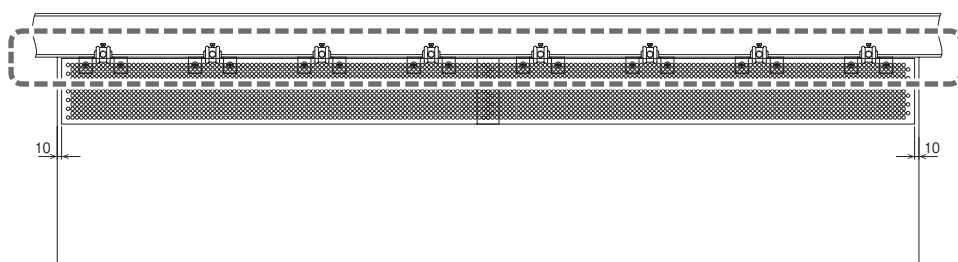


Ⅱ H形鋼の場合

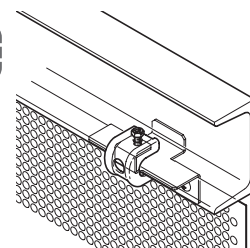


2 ブラインドプレート上段の固定

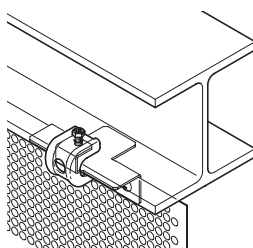
組み合わせた固定金具を形鋼に固定します。開口幅に合わせてブラインドプレートを重ね合わせます。
ブラインドプレートと基礎面は10mmほど間隔をあけます。



Ⅰ みぞ形鋼の場合

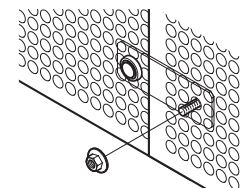
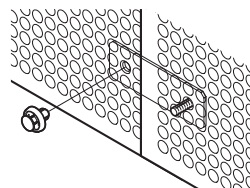
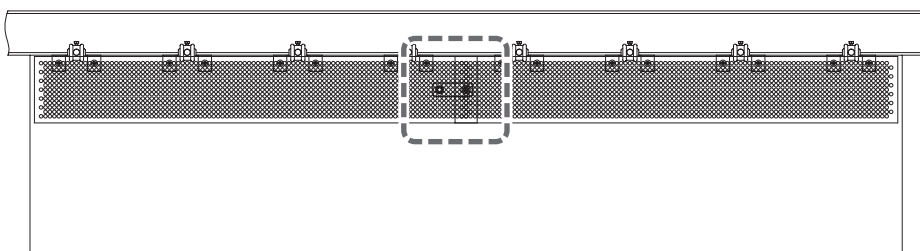


Ⅱ H形鋼の場合



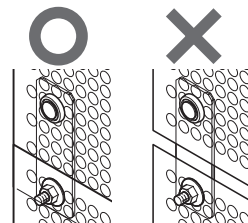
3 継ぎ金具の取り付け

ブラインドプレートの重ね合わせ部を継ぎ金具で固定します。ブラインドプレート重ね合わせ部の裏からボルトを突き出し、前側から樹脂リベットで金具を仮止めします。ナットを締め付けて固定します。



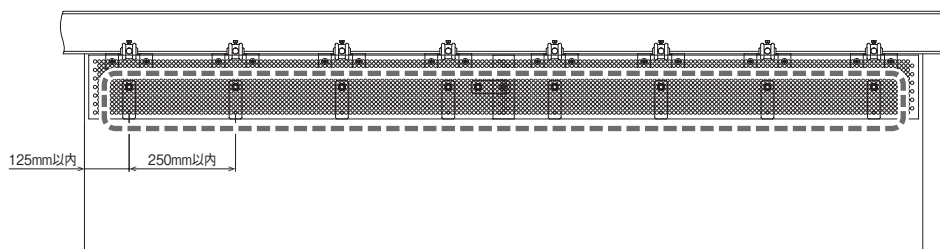
⚠ 注意

- 樹脂リベットをブラインドプレート同士の固定に使用しないでください。飛散の恐れがあります。

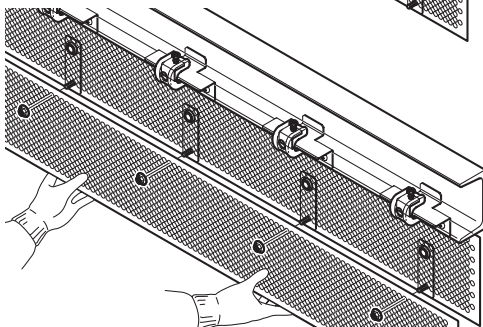
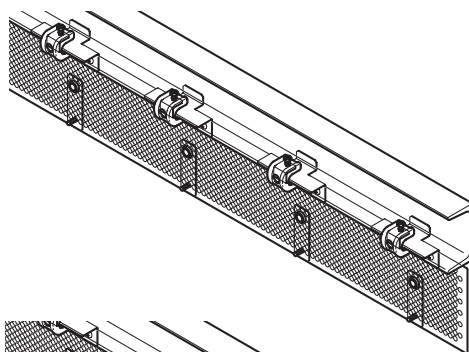
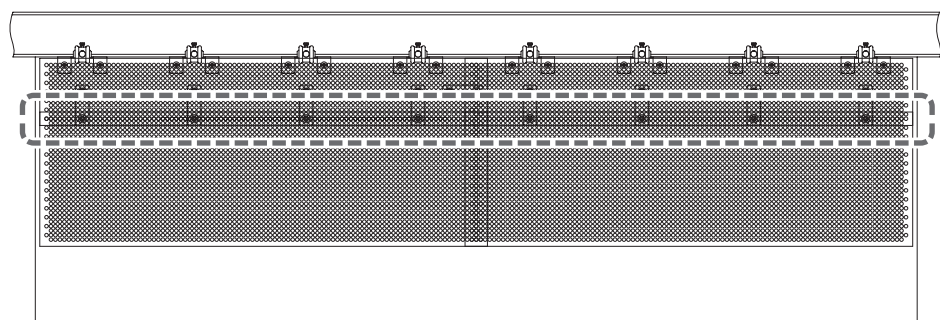


4 ブラインドプレート下段の取り付け

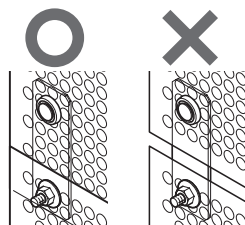
ブラインドプレート上段に継ぎ金具を仮止めします。樹脂リベットが上側になるように取り付けます。継ぎ金具の取り付けピッチは250mm以内です。



継ぎ金具のボルトにブラインドプレートを引っ掛けて仮置きし、ナットを締め付けて固定します。

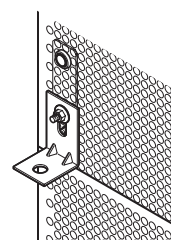
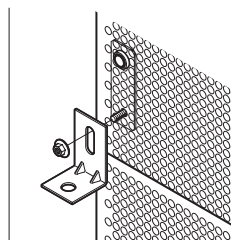
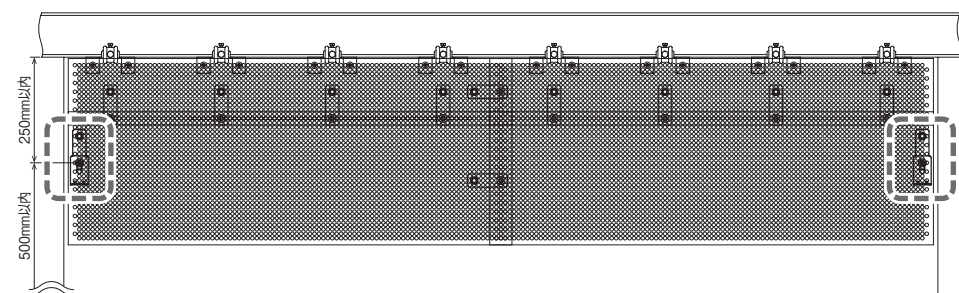


⚠ 注意
●樹脂リベットをブラインドプレート同士の固定に使用しないでください。飛散の恐れがあります。



5 基礎用固定金具の取り付け

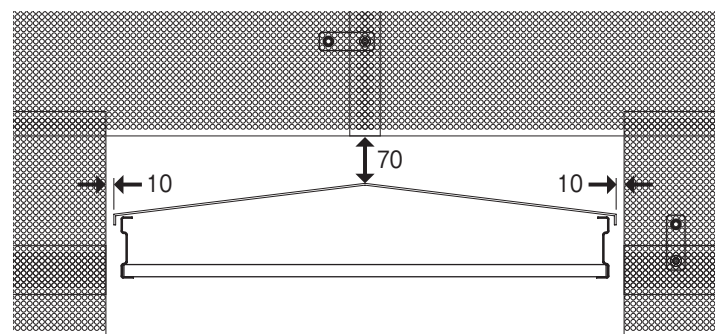
附属の継ぎ金具を基礎面近くに仮止めし、L金具をボルトに仮止めします。基礎用固定金具の取り付けピッチは500mm以内です。
※施工の最後に固定をします。



⚠ 注意 ●開口高さ700mmあるいは開口幅1970mmを越える場合は、基礎用固定金具を取り付けピッチ500mm以内で固定してください。飛散の恐れがあります。

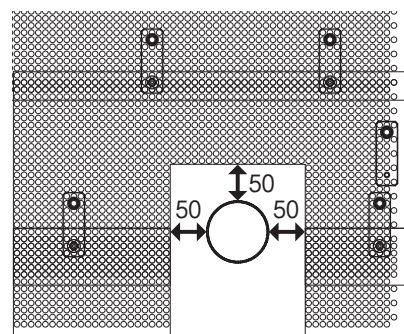
6 ケーブルラック周りの閉塞

ケーブルラックのカバーの頂点から70mm、側面から10mmほど間隔をあけ、ブラインドプレートを取り付けます。



7 配管周りの閉塞

配管の上、左右50mmほど間隔をあけ、ブラインドプレートを取り付けます。

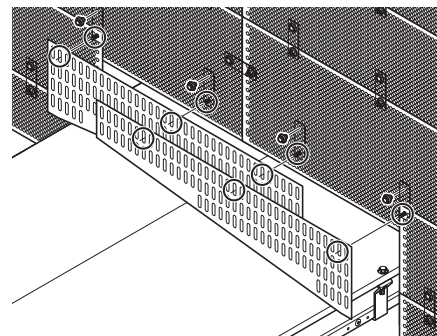
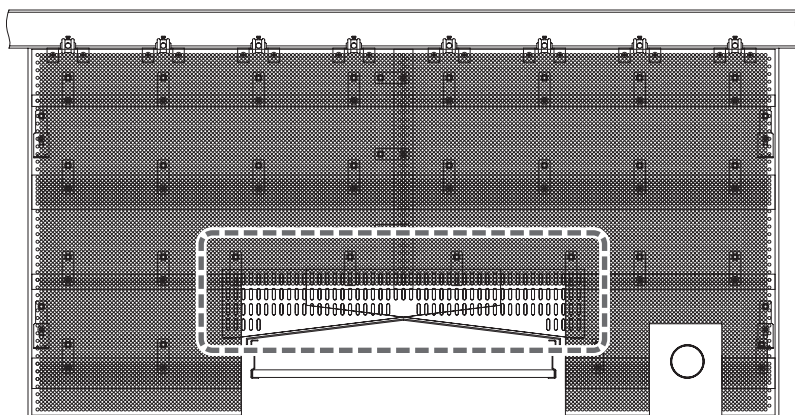


屋根形カバー用プレートの取付手順 1～3

1 屋根形カバー用プレートの位置決め

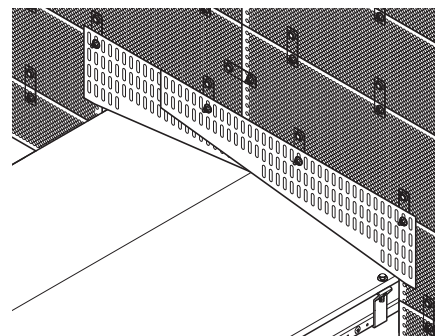
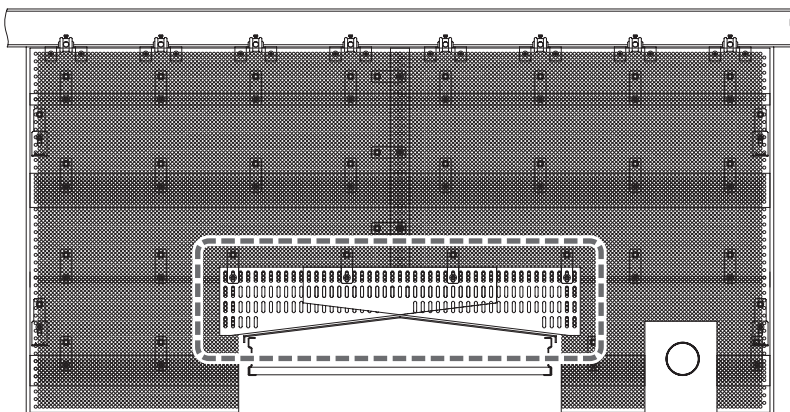
プレートを当てがい、固定箇所にマーキングし、継ぎ金具を仮止めします。

※固定箇所は4箇所以上



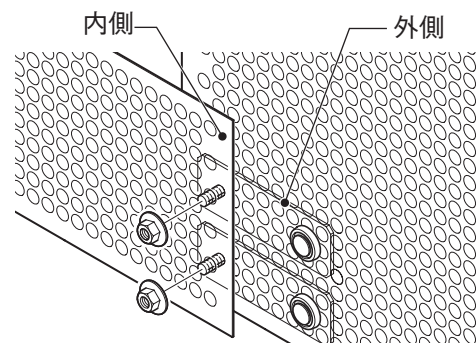
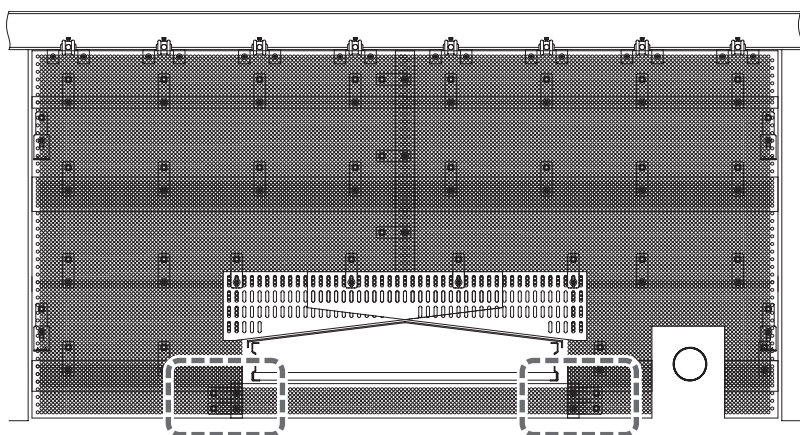
2 屋根形カバー用プレートの固定

プレートをボルトに引っ掛け、カバーとプレートの隙間を調整し、ナットを締め付けて固定します。



3 ケーブルラック下の閉塞

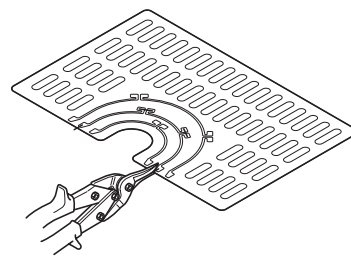
ケーブルラックの下に継ぎ金具を取り付け(片側2箇所)、ブラインドプレートで閉塞します。



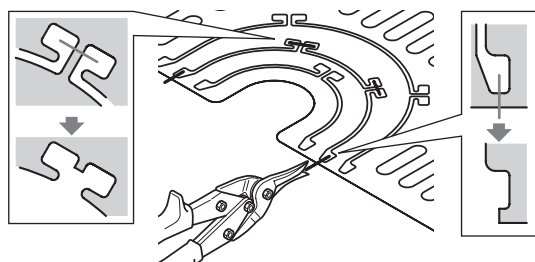
配管用プレートの取付手順 1～5

1 配管用プレートの加工

配管のサイズに合わせて「カットポイント」を切断します。

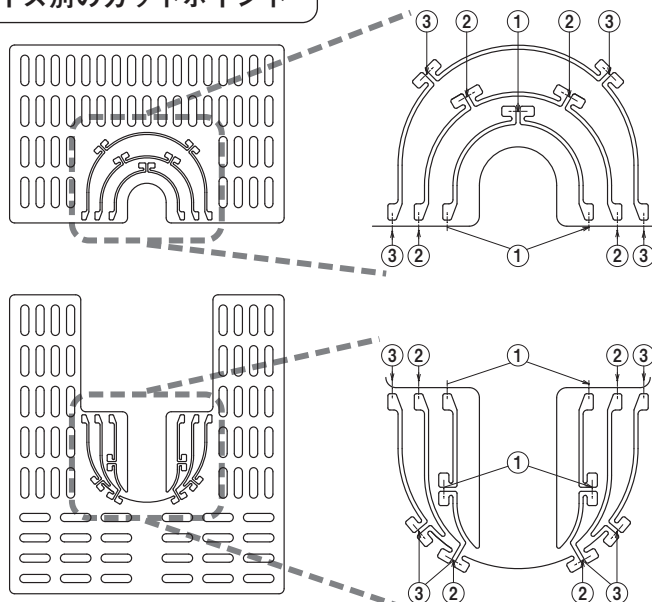


カットポイントについて



配管のサイズに合わせて「カットポイント」を切断してください。

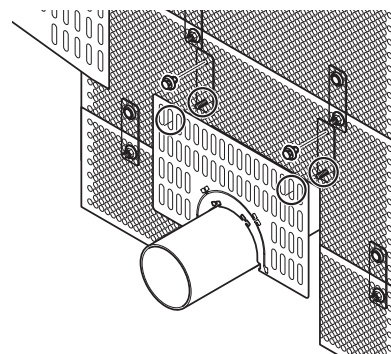
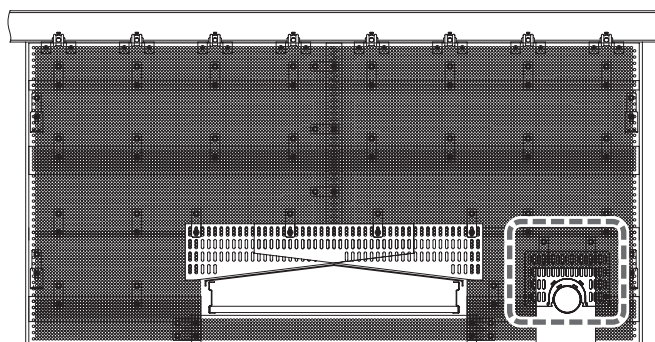
配管サイズ別のカットポイント



厚鋼電線管呼び(外径)	カットポイント
G16～G 28 (φ 21.0～φ 33.3)	カットなし
G36～G 54 (φ 41.9～φ 59.6)	①
G70～G 82 (φ 75.2～φ 87.9)	②
G92～G104 (φ100.7～φ113.4)	③

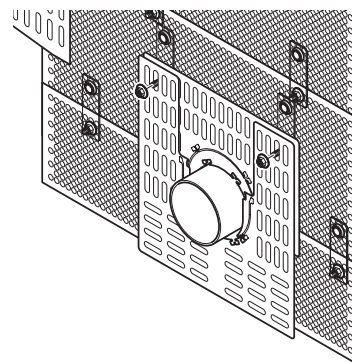
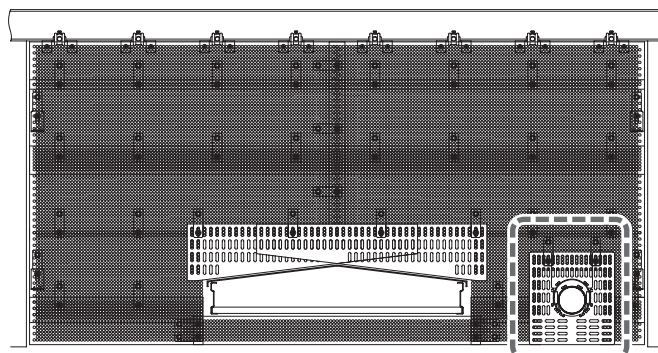
2 配管用プレートの位置決め

プレート(上部)を当てがい、固定箇所マーキングし、継ぎ金具を仮止めします。
※左右1箇所ずつ



3 配管用プレートの仮止め

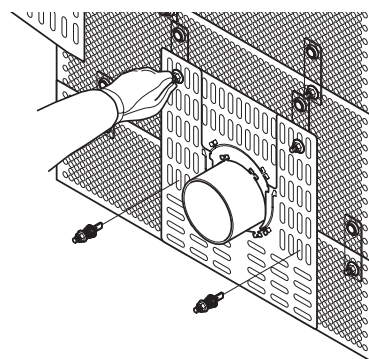
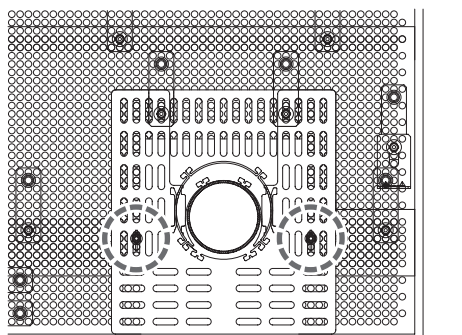
プレート(上部)→(下部)の順番に取り付け、配管や床面との隙間を調整し、ナットを手で軽く締めて仮止めします。



4 配管用プレートにオタイコハンガーを仮止め

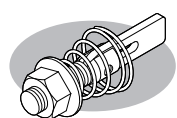
仮止めした上部のボルトを持ち、プレートのたわみを抑えながらハンガーを差し込み、仮止めます。

※左右1箇所ずつ

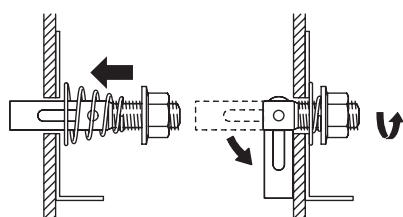


オタイコハンガーの取付手順

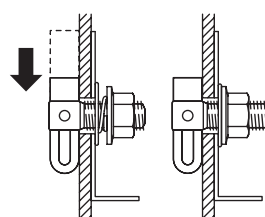
オタイコハンガー



ITU625SB

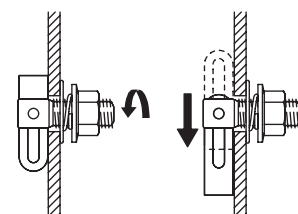


①ハンガーを差し込み、押し込みながら180°回転させます。



②ハンガーのハネ部が自然に落ちて仮止めができるので、ナットを締め付けて固定します。

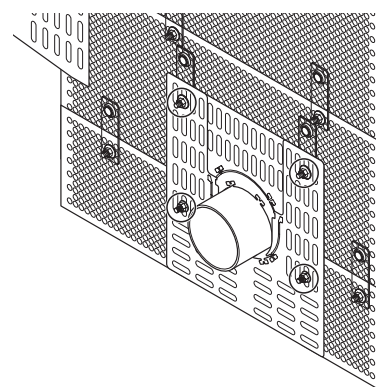
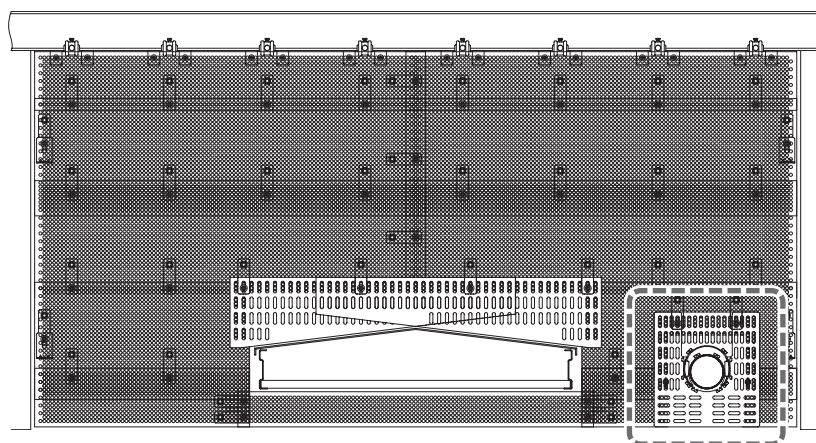
取り外し方法



ナットをゆるめ、ハンガーを180°回転させます。自然にハネが落ち、ハンガーは抜き取れます。

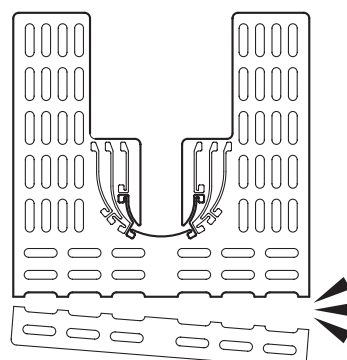
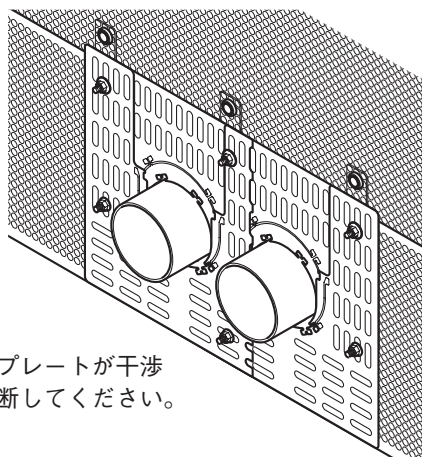
5 配管用プレートの固定

4点すべてのナットを締め付けて完了です。



取付例

並列配管時にプレートが干渉する場合は切断してください。

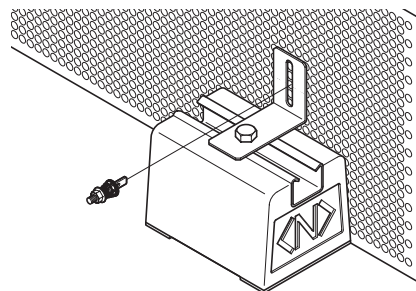
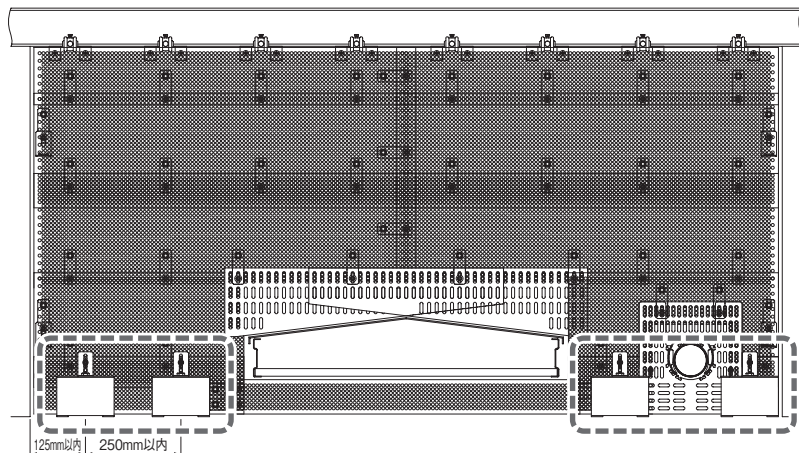


配管下が床から100mm以下の場合にはプレート(下部)の下側を切断してください。

ブラインドプレート全体の取付手順2 1～3

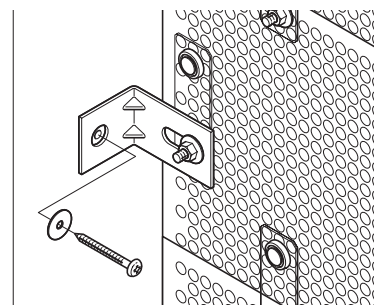
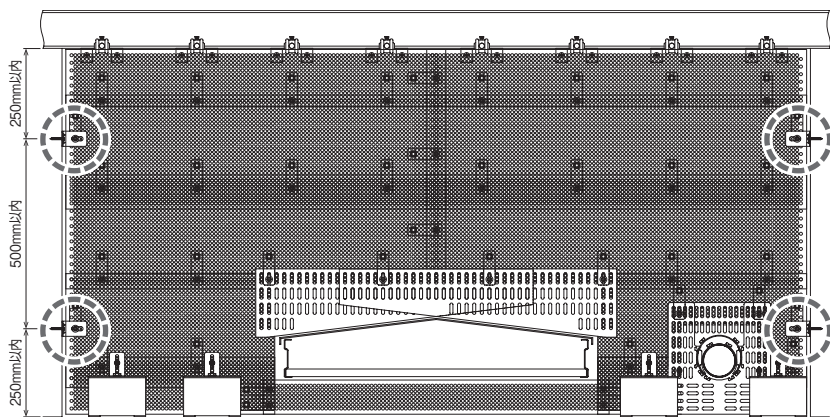
1 ブロック固定金具の取り付け

ブロックにL金具を取り付け、ブラインドプレートに当てて位置決めし、付属のハンガーで固定します。
ブロック固定金具の取り付けピッチは250mm以内です。

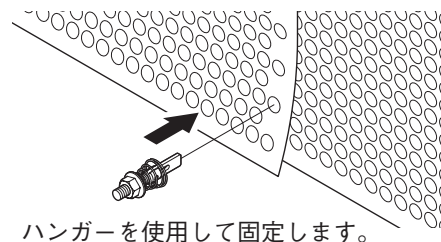


2 基礎用固定金具の固定

φ4.3のドリルで基礎面に下穴をあけ、コンクリートビスとナットを締め付けて完了です。
※下穴は深さ45mm以上



※ブラインドプレートの重なり部に浮きが生じた場合



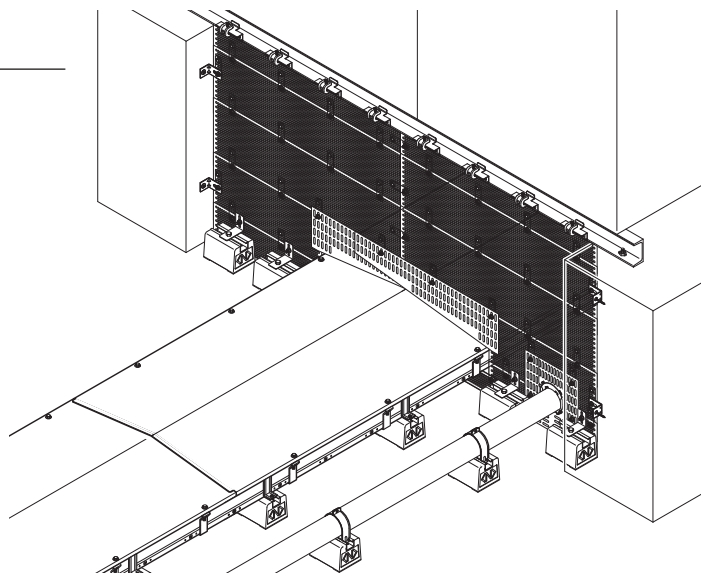
ハンガーを使用して固定します。

使用上のご注意

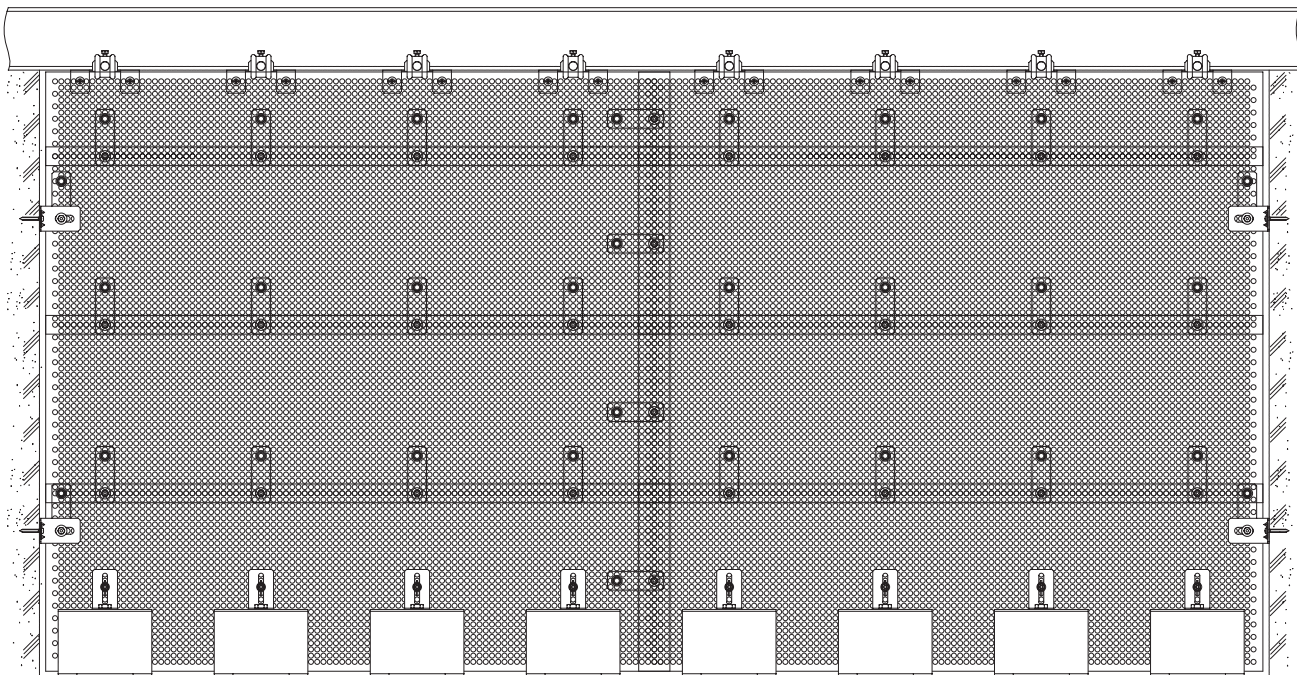
- 付属のコンクリートビスはコンクリート用です。乾式保護材には使用しないでください。
- 付属のコンクリートビス取り付けにインパクトドライバー等をご使用の場合は低速回転でゆっくりとねじを締め込んでください。
- コンクリートビスの締め付完了は、ねじ頭が取付物に着座時が目安です。締め付け過ぎにご注意ください。
- 孔内の切粉は除去してからコンクリートビスの締め付けを行ってください。

3 施工完了

すべてのねじが締め付けられていることを確認し、施工完了です。



貫通物なしの場合



風圧補強応用例

ブロックを縦向きに取り付け、ダクターチャンネルで繋げることでブロックが動き難くなります。

